

令和2年度 第2回日立市上下水道事業経営審議会意見

令和3年3月10日付で書面により開催しました標記審議会でいただいた意見は次のとおりです。

No.	資料頁	意見又は質問の内容
1	P7	耐震化事業にはかなりの経費が必要と思うが、耐久性に問題のある老朽管路については、迅速な対応を行ってほしい。
2	P8、P15	上下水道施設ともに経営戦略で掲げた目標値を達成できていないものの、耐震化率の指標は改善しており、その点は評価できると思われる。 目標未達の背景については分析されているので、目標見直し時には改善に向けた取組を盛り込んでほしい。
3	P18	日立市の人口が減少傾向にあることは承知しているが、令和36年度には10万人を切ってしまうという人口推計には驚きを感じる。安定水源確保のために最善の検討を行ってほしい。
4	P19、P20	民間活用については、安易な導入とならないよう、導入目的の明確化に留意が必要と考える。そのうえで、効果的な民間活用となるよう、例えば水質・業務水準の均一化、サービス水準の向上を図るような、業務の包括化やインセンティブの設定など、単なるコスト削減とならないような、工夫の取り入れを期待する。
5	P20	民間活用の検討を優先するとあるが、より効果的な民間活用のために、広域連携の取り組みと合わせた検討が必要となる場面も出てくると考える。民間活用の内容によっては、周辺自治体との広域連携も合わせて検討する必要もあると思われる。

No.	資料頁	意見又は質問の内容
6	全体	<p>主な建設改良事業に係わる経営戦略と令和元年度実績の比較、安定水源確保策の検討、広域連携・民間活用に関する本市の取組に関する資料から、経営戦略が着実に実行されていることを確認した。</p> <p>今後の人口減少を見据えた施設・管路ネットワークのダウンサイジングや広域連携・民間活用による支出削減対策、気候変動に伴う渇水や塩水遡上による取水制限リスク回避の対策など、多くの課題があるが引き続き検討を続けていただきたい。</p> <p>施設・管路ネットワークのダウンサイジングの検討にあたっては、上下水道だけではなく防災・教育・医療介護など、様々な観点から総合的に検討を進めなければならない大きな課題であるため、ぜひ企業局を超えた横断的な検討が進むことを期待する。</p>
7	全体	<p>水道、下水道共に更生、更新の事業を進める中、ここ最近は地震（震度の大きい）が増えており、老朽化の進行した施設が懸念される。今年度の経営戦略事業にも含まれている耐震化工事の計画・実施により地震に強靱なライフラインの構築が推進されることを期待する。</p>
8	全体	<p>市の人口減少に伴う給水量、料金収入の減少等の対策、また、取水・導水設備の更新、さらには老朽化した配水管の更新などの着実な推進を期待する。</p>
9	全体	<p>CO2 排出減やエコエネルギーの活用など、環境への配慮が求められるなか、主にコスト削減による効率化が経営改善の中心となる上下水道事業では難しい点もあると思うが、環境配慮への取組やその評価のための指標について、今後検討する余地もあるのではないかと考える。</p>

以上